

老健 しずおか

静岡県老人保健施設協会機関誌
ROUKEN SHIZUOKA

第22号

2018.03

22

編集／静岡県老人保健施設協会機関誌部会
題字／タカネ園習字クラブ

平成30年3月発行

印刷／株式会社第一印刷

TEL(053)544-9701

TOPIC 1 平成29年度 第1回

職員研修会🔔Report!

TOPIC 2 平成29年度 第1回

職員研修発表会🔔Report!

TOPIC 3 第28回全国介護老人保健施設大会

愛媛 in 松山🔔Report!

◎県内老人保健施設協会会員施設紹介

部会報告 看護・介護部会／支援相談員部会
施設ケアマネ部会／通所リハビリ部会
リハビリ部会／栄養部会／防災部会

★浜松城

介護老人保健施設の 理念と役割

〔理念〕

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、
生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

〔5つの役割と機能〕

I 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。
そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

II リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、
集中的な維持期リハビリテーションを行います。

III 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、
多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

IV 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどの
サービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

V 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。
市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。
また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

静岡県老人保健施設協会

医療法人社団 和恵会 内

〒432-8061 静岡県浜松市西区入野町6417
TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201
www.rouken-shizuoka.jp





ご挨拶

静岡県健康福祉部福祉長寿局
福祉指導課長 黒岩 康



ご挨拶

静岡県老人保健施設協会
会長 猿原 孝行

日頃、静岡県老人保健施設協会の運営に関し多大なご厚誼を頂きこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、年齢など個人的な理由から静岡県老人保健施設協会会長を辞退したいと思っておりますが立候補者がおらず平成30年度から二年間再び会長を引き受けることになりました。そして現在、医療では少子高齢化の進展で将来の需要が地域により大きく変動することから適切な医療提供体制の再構築が必要となっております。医療の制度改革を進めながら片方で地域包括ケアシステムの構築が急がれています。地域包括ケアシステムは端的に言えば住み慣れた地元（住宅）で一生を全うする社会の構築だと理解しています。住み慣れた地域で生活が営めるようにそれぞれが生活する場に老人保健施設から出向くことも求められてきました。従い、今回から老人保健施設の役割として在宅復帰、在宅療養支援の指標が導入されました。10項目にわたり数値化したもので90点が最高値です。しかし、その一方で介護度4又は5の割合や喀痰吸引の実施割合、経管栄養の実施割合も求められています。これは病院から退院してくる人が増えるからだと思います。今後、それぞれの老人保健施設

設では高い看護力と介護力やリハビリ力等のさらなる向上が求められることとなりました。元来、老人保健施設は医療と在宅の中間に位置する中間施設としての役割もあることから医療という「軽症者」を今後も積極的に受け入れる事が必要になります。軽症者だが介護度が高い4、5の人も増える想定されるわけです。今回の介護報酬改定ではリハ専門職を多く配置している老健は高く評価されることになりました。退院後速やかにリハビリを提供し速やかに在宅へ帰る流れが加速するものと思います。又、居宅サービスの実施数も指標項目に入りました。在宅や地域社会との繋がりを深め色々なサービスを提供し在宅での生活が営める期間を延ばすことを目的にしていることが分かります。今後の老人保健施設は地域との連携をより一層深め地域包括ケアシステムの中で核心的な役割を担うことが求められます。つまり時々入所しほば在宅。そして在宅で各種のサービスを受け尊厳ある生活を営む。そんな理想社会が実現する。理想社会の構築を目指し静岡県老人保健施設協会・会長として二年間頑張りたいと思っております。宜しくお願いいたします。

日頃、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者保健福祉の推進に御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

高齢化が急速に進行する中、平成29年4月1日現在、静岡県の高齢化率は28.2%に達し、そのほぼ半数を75歳以上の後期高齢者が占めています。全国的にも今後総人口が減少する一方、高齢者人口は増加していき、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年には、およそ3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上になると予測されています。

このような中、介護・医療予防・住まい・生活支援を包括的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を実現するため、国においては診療報酬と介護報酬の同時改定に取り組み、県においては地域医療計画と介護保険事業計画の見直しに取り組んでいます。

平成30年度の介護保険制度改正では、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現、多様な人材の確保と生産性の向上、介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保をめざすこととされております。

特に老健施設においては、在宅復帰や在宅療養支援を更に推進するための基本報酬や

加算の見直しが行われる他、かかりつけ医と連携した減薬に関する取り組みや低栄養のリスクが高い入所者の改善に向けた取り組みなどを、新たな加算で評価することとされております。

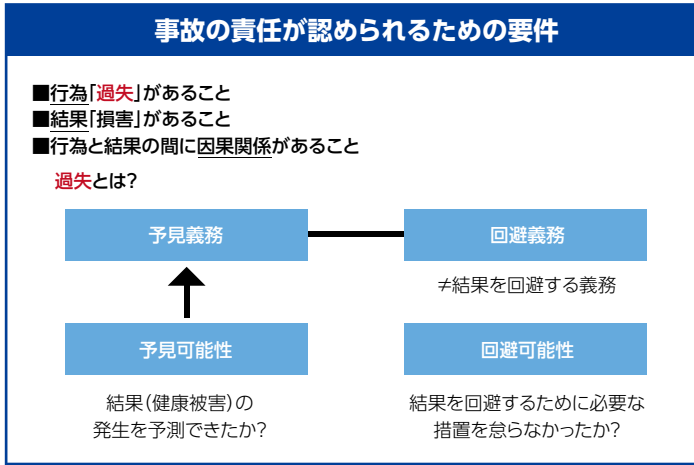
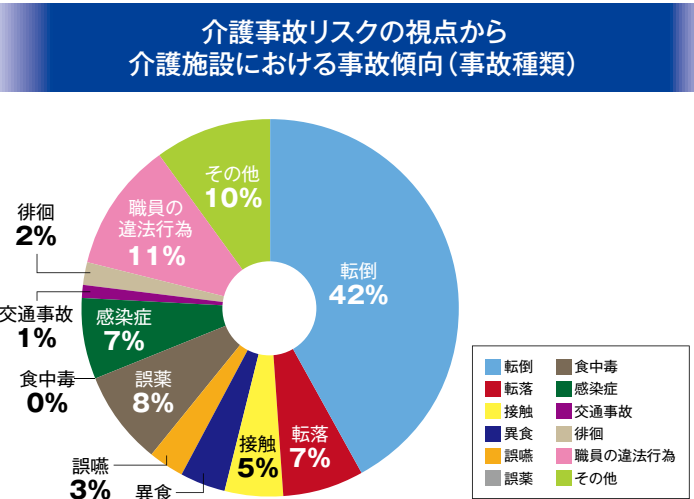
「できる限り住み慣れた地域で、最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送りながら老いていただく」ことが、地域包括ケアシステム構築の理念であります。が、今般の法改正で在宅復帰支援機能と在宅療養支援機能の両者を併せ持つことが明確化された介護老人保健施設として、地域包括ケアシステムの中核施設の役割を果たされることを期待しています。

結びといたしまして、貴会及び貴会会員の皆様におかれましては、介護老人保健施設の理念と「5つの役割と機能」を踏まえ、高齢者の尊厳を守り、在宅生活を支える地域の拠点として、益々御活躍いただきますようお願い申し上げます。

事故発生時の対応 ～リスクマネジメントの勘所～

時代とともに多様化してきたリスクと リスクマネジメント＝危機管理の重要性

人間と人間との関わりそのものである介護サービスは、故意ではなくともヒューマンエラーはつきものです。常にリスクが発生する要因を追求・把握し、事故を未然に防ぐ努力をしなければなりません。その上で重要になるのが、リスクが発生してしまった場合の対応策です。



介護施設で起きた事故はどうみられるのか

- 介護職員は「介護のプロ」
 - 医療の専門家ではないが、介護スタッフの**専門家としての経験・判断能力**があるものとみなされる
 - 利用者の意思を無視したケアはできないが、危険である場合に、**その危険性についてどれだけ説明した**のか、利用者が**どう受け止めたのか**が問われる
- 裁判は記録での勝負
 - 危険を回避するための対策をとっていたとしても**記録に残っていないければ何もしていなかったものとみなされることもある**
 - 繁忙な業務の中でも簡単に記録が残る「**訪室チェックリスト**」「**夜間行動確認チェックリスト**」などを利用

SOMPOリスクアマネジメント株式会社
医療リスクマネジメント事業部
上級コンサルタント・薬剤師
永吉 旭士 氏



争点は安全配慮義務に違反するかどうか

まず介護事故の法的な考え方として、裁判事例を基に、その争点と判決のポイントを紹介。事故の責任が問われるのは、左の表のとおり。過失ありの場合、事故発生直後の緊急対応は当然のごとく、予防の観点で対応していたかどうかもカギになる。過失なしの場合にも、事故発生直後の緊急対応がどうだったかが重要だ。

裁判では、介護職員は「介護のプロ」としての経験・判断能力があるもの」とみ

事故対応体制の整備と教育

発生が予測される事故に対し、発生時の利用者被害を最小限に留めるための初期対応体制の整備と教育が重要に

最後に、事故発生時の家族対応や苦情クレーム対応について、そのポイントを説明。苦情は「お金のかからない市場調査」ととらえ、組織で共有して再発防止のためのルール作りや教育を実施するなど積極的に活用すべきと結んだ。

TOPIC 1

平成29年度 第1回

職員研修会

Report!

日時

平成29年9月12日(火)

会場

もくせい会館 富士ホール

各施設の役職者をはじめ、ケアマネージャー、介護士、介護相談員など、36施設67人が参加しました。

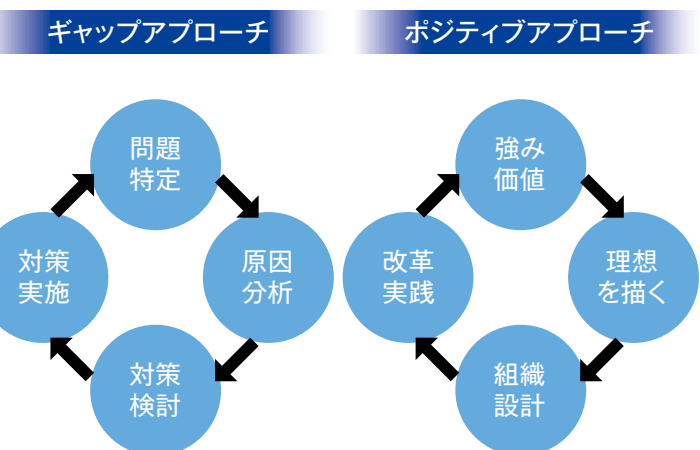
リスクを軽減するために効果的な組織力の向上

「働きがいのある仕事」「モチベーションの高い職場」がより質の高いサービスの提供につながる



株式会社インターリスク総研 事業リスクマネジメント部
事業継続マネジメント(BCM)グループ 上席コンサルタント
松岡 伸輔 氏

今、与えられている仕事が、自分にとってやりたい仕事かどうか。
個人が仕事に対して働きがいをもっているか否かは、企業の業績に大きく関係してきます。老健の職場に置き換えれば、一人ひとりの職員の仕事への想いが前向きかどうかさらには、職員のつながり(チームワーク力)がポジティブな意識かどうか提供サービスの質に大きくかかわってくるのです。



チーム内の会話を「強みに価値を見出す視点」から始めると、「こうしたらもっと良くなる」という理想を描くようになり、「そのためにチームをこうしよう」、「こう変えていこう」と前向きな発想が生まれる。

※1 ソシオグラム[sociogram]とは？

集団における人間関係の構造を明らかにするため、成員相互間の選択(牽引)・拒否(反発)関係を図表化したもの。(三省堂 大辞林より)

例えば「この4人は仲がいい」「この人は特に誰かと仲がいいわけではないが、どのグループとも会話ができる」などの情報を基に、集団の人間関係を図表化して分析することに用いられる。



グループワーク形式でソシオグラムを体験。複数人のつながりを記したメモを基に、人間関係を図表化するという作業を行い、そのつながりから誰がキーマンなのかを探った。複雑な人間関係に悪戦苦闘するチームもあったが、組織力向上に必要な「つながり」について考える機会となった。

介護保険事業計画(市町)策定にあたっての県の方針

- 地域医療構想との整合性
 - 病床の機能分化・連携により生じる**在宅医療等への対応**
- 自立支援、介護予防・重度化防止の推進
 - 市町が保険者機能を発揮し、**自立支援・重度化防止に向けて取り組む仕組み**の制度化への対応
- 地域ケア会議の推進【地域支援事業関係】
 - 地域ケア会議を活用した**地域課題の把握**、発見した**社会資源の活用**など内容の具体化・明確化
- 地域密着型サービスの推進【施設整備のあり方関係】
 - 地域包括ケアシステムの核となる**地域密着型サービスの更なる充実**
- 人材の確保及び資質の向上
 - 喫緊の課題である**人材不足、質の向上への県、市町における取り組み**

講演

「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて」

講演でははじめに、現在推進する静岡県地域医療構想の内容をおさらいした。介護保険制度の改正に伴い、見直された地域支援事業や推進されている在宅医療・介護連携推進事業などを紹介した。

最後に、これから展開される保健医療計画と介護保険事業(支援)計画の概要と県の方針について説明し、あらためて地域包括ケアシステムの構築が最終的な目標であると結んだ。



静岡県 健康福祉部
福祉長寿局 長寿政策課
地域包括ケア推進班
班長 加藤 克寿 氏

班長 加藤 克寿 氏

介護職のやりがい・楽しさ
～介護療養型老健に移行しても～

介護療養型老人保健施設として、医療ニーズの高い利用者様の受け入れが可能な環境にあるものの、その分介助量が多く日常業務に追われがちだった。外出やレクリエーションを積極的に企画・実施した結果、活動を通して利用者様たちの笑顔が増え、それが介護職のやりがいや楽しさにつながっていることが分かった。



新富士ケアセンター
介護福祉士 藤田 順子

安全・快適の先にあるリラックスを求めて

入浴環境の改善に取り組む入浴委員会では、月1回の委員会を開催。清潔を保持するだけでなく、リラックスできる環境を整えることを目標として取り組んできた。利用者様のこだわりや習慣の実現に近づけるための考えや視点が養われるようになってきた。結果、入浴中の職員とのコミュニケーションが多くなった。



ユニケア岡部
介護福祉士 磯邊 清孝

BCP(事業継続計画)の勉強会で気づけた事
～災害発生時、自宅が被災した職員の家族・ペットの問題～

災害対策委員会が中心となり、BCP(事業継続計画)の策定と見直しをしている。職員の自宅が被災した場合、家族とペットの対応はどうするか?」について、職員から対策を募集するなど施設全体で問題を共有することで、職員の防災意識が高まった。今後、BCPとして昇華させていきたい。



こみに
社会福祉士 石割 大貴(左)
理学療法士 鈴木 淳也(右)

自主トレ導入から得たもの

以前よりリハビリ提供時間以外に、自主トレーニングを導入していたが、効果が表れにくかった。そこで、利用者様に合わせて自主トレメニューを見直し、看介護職には自主トレ内容や実施方法を説明。スタッフ間の連携を密にした結果、職員の意識の変化や利用者様の身体機能の向上、日常生活の向上が見られた。



あみ
理学療法士 近藤 広章

第2部

座長 白脇ケアセンター
総師長 山内悦子



在宅復帰に向けての自立支援
～利用者様のできるADL支援の実施～

多職種との連携支援の強化を重点項目に掲げ、利用者様の「できるADL支援」の取り組みを実施した。対象者様、ご家族様の意向確認から多職種を交えてのカンファレンス開催、自立支援に向け目標設定し計画を作成。担当職員がリハビリからOJTを実践し、職員全員に水平展開、フロア内で実施した。



入野ケアセンター
介護福祉士 松下 千恵美



TOPIC 2 平成29年度 第1回
職員研修発表会 Report!

日時 平成29年9月22日(金) 会場 もくせい会館 富士ホール

第1部、第2部合わせて11演題の発表がありました。
最後に1時間の講演の後、表彰式が行われました。

新しいデイケアを目指して
～メディカルクッキングの導入～

メディカルクッキングは、医療的な指導や管理栄養士のもとで塩分や糖분을配慮した調理実習のこと。リハビリを兼ねたレクリエーションとして採用した。在宅復帰や在宅支援の一環として食に興味をもつことで、日ごろ不安に思っていることの解決や、ADL、QOLの向上につながることを確認した。



荻の里
介護福祉士 井町 記世子

車椅子座位姿勢の崩れが著しい重度片麻痺利用者の参加
活動意欲向上を目指した取り組み～車椅子シーティングに着目して～

シーティングの工夫から座位姿勢が安定し、多くの外的刺激入力継続的に可能になり、活動参加意欲の向上に至った。今後、より快適なシーティングを客観的に評価できるように、中折れ角度や背面設置面積、快適度を個々に数値化し、他の利用者様でも継続的な介入を行うことで、その有用性を確認していきたい。



グリーンヒルズ藤枝
理学療法士 一ノ宮 崇

靴下、毎日交換していますか?
～一般棟での靴下交換運動を実施してみて～

利用者様の足の清潔に対するスタッフの意識を高めたいと始まった取り組み。レクリエーションとして毎朝10時に取り入れ、習慣化させたことで下肢トラブルの早期発見につながった。利用者様にとっても生活リズムができ、清潔になる爽快感といった心理的效果もみられ、予想以上にコミュニケーションが増えた。



あみ
介護福祉士 白鳥 いづみ(左)
介護福祉士 若杉 裕未(右)

老健施設における看取りの取り組み
～職員の意識の変化を知る～

看取り介護に携わる職員の意識調査によると、25年と29年とを比較して、看取りへの賛成が増大した【賛成(54%→89%)、反対(46%→10%)】。日ごろからご家族との密な関係を保ち、利用者の思いに寄り添い、実際に多職種で看取りの経験を積むことで、前向きな意識へと変化が現れている。職員の意識が前向きに変化したといえる。



ケアセンター池田の街
看護師 氣田 千恵美(左)
顧問 山田 峰子(右)

書式を変えて見えてきたもの
～ヒヤリハット報告書の書式変更～

ヒヤリハット報告書の提出件数の少なさから、事故防止や予防対策を分析できないという課題があった。ヒアリングにより、報告書作成の手順とスタッフの意識に問題があると推察。報告書のネーミングをやわらかくし、報告事項を簡素化、手書きで作成できるスタイルに変更。レポート提出件数を増やすことにつながった。



梅名の里
介護福祉士 原 和彦

スタッフの変化で利用者様も大変身

スタッフの意見を積極的に取り入れ、得意なことを役割とするなどのほかに、常に声をかけ合い支え合う、お互いに褒め合う、勉強会の開催、共通したケアの提供などに取り組んだ。結果、スタッフが自信ややりがいをもってケアを行え、明るい表情になったことで、利用者様にも伝わっていると感じられるようになった。



まんさくの里
介護福祉士 高野 衣美

第1部

座長 ヒューマンライフ富士
看介護科 次長 幸塚 暢子



管理・運営等
医師と医療
リハビリテーション
レクリエーション
食事（栄養）ケア
排泄

オリジナルマニュアルの課題と改善
～ポケットサイズマニュアルを導入して～

平成25年から導入しているオリジナルマニュアルに課題が見え、その改善をした。今後は、医療的内容・認知症に関する内容を加えていき、より良いものにしていく予定である。

●介護老人保健施設 萩の里 介護福祉士 小島功大

支援相談員から見た当施設の現状

在宅強化型老健として在宅復帰に取り組む当施設が、高齢化や人口減少が著しいこの地域で、今後どのように地域と共存していくか、支援相談員の視点から分析した結果を報告する。

●介護老人保健施設 なぎさ園 支援相談員 糸賀浩司

当老健施設における抗凝固療法の現状
～NOAC時代を迎えて～

非弁膜症性心房細動による脳梗塞の予防にDOAC(直接作用型経口抗凝固薬)内服患者が増加してきている。当施設の抗凝固療法の現状を明らかにし、今後の活用について検討した。

●介護老人保健施設 エコトープ 医師 新井鐘一

認知症に対する集団的関わりの効果

認知症短期集中リハビリ終了後の認知症に対する継続的な小集団リハビリの効果について検証した。その結果を報告する。

●介護老人保健施設 まんさくの里 理学療法士 潮崎公志郎

生活場面を主とした介入により自宅復帰に至った一症例

小脳出血後、意識障害を呈し生活機能が低下した症例に対して生活場面を中心としたリハビリの実施により、自宅復帰が可能となった一例の経過とアプローチについて報告する。

●介護老人保健施設 エスコートタウン静岡 理学療法士 富山正登

おとん、おかんのうしろ姿
～昔懐かし今は見られない親の姿～

思い出作りのため始めたおやつ作りだった。利用者様の本当の姿を写真で家族に伝えることができた活動報告。

●介護老人保健施設 菜の花の丘 介護職 沓沢小百合

多職種連携による摂食評価表を導入して
～長く食を楽しみたい～

入所者の高齢化が進み嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎が増加。摂食評価表を用いた多職種カンファレンスを導入し安全な食事の提供と食べる楽しみの環境づくりが可能になった。

●介護老人保健施設 八幡の森 看護師 水越みづほ

利用者の排泄動作の意欲を高めるための取り組み
～2事例の介護を通して考える～

在宅復帰を目指す利用者2名に対して、排泄動作の意欲とADLの向上を目標に、フロアで統一したケアを実践。「オレムの看護論」に沿って利用者の保有能力に着眼し介護を展開した。

●三島総合病院附属介護老人保健施設 介護福祉士 山崎茜

全般的なケア

靴下毎日交換していますか？
～一般棟での靴下交換運動を実施してみて～

「利用者様の足の清潔に対しての意識を高めていきたい。私たちが毎日当たり前にするように、利用者様の靴下も毎日交換していきたい」と靴下交換に取り組んだ結果を報告します。

●介護老人保健施設 あみ 介護福祉士 山本彩乃

心と体にしみるラベンダー
～香りのある生活がもたらす心身への影響～

アロマには抗菌作用や鎮静作用など多くの効果が知られている。ラベンダーを使用してフロアを加湿したところ、インフルエンザの発症率低下などの相乗効果が得られた。

●介護老人保健施設 静岡徳洲苑 介護福祉士 土屋則子

本当にお腹痛いの？
～カンファレンスから見た個別ケアの重要性～

個別ケアを重視した援助を強化するためケアプラン評価ツールを作成しカンファレンスで活用。個別ケアにつながった事例として腹痛を頻回に訴える利用者様へのアプローチを報告する。

●介護老人保健施設 ヒューマンライフ富士 介護福祉士 佐土下由香

老健来たら元気になった！
～「母さんと一緒に暮らしたい」を叶えるために～

心疾患などに起因する廃用のため、ADL全介助レベルであった40代男性利用者。入所後、生活リハや運動療法を実施したことでADLに大幅な改善を認め、在宅復帰につながった。

●介護老人保健施設 あじさい 理学療法士 戸塚健太

みんなで「おやつ」
～自立支援から自助・共助へ～

おやつ提供を通して生活歴(利用者様のライフヒストリーや職歴の理解)、おやつにまつわる物語を「思い」として感じ取り、その思いに働きかけ自立支援から自助・共助へとつなげる。

●介護老人保健施設 エスコートタウン静岡 介護職 山岡佳祐

みんなで諦めず頑張るべえ
～菜の花サークルを結成しみんなでADLの向上

入所時は寝たきりだった方に、多職種が関わることで意欲が出て、現在ではほぼ自立になったことでの本人の喜びと家族との関わりの発表。

●介護老人保健施設 菜の花の丘 介護職 渡邊健太

介護職員が行う生活リハビリから見えてきたもの

利用者様の日常生活がリハビリに特化していなくては、老健の役割を果たせていない。そこで介護職員による立ち上がり訓練を行い、利用者様の生活の一部を支えてきた。

●介護老人保健施設 萩の里 介護福祉士 一杉真司

利用者様の個性を大切にしよう！
～三大介護に対する個別チェック表の活用～

利用者様の日々の情報共有はあったが、生きてきた背景や趣味嗜好までは共有できていなかった。理解を深めるために、個別チェック表を用いたところ、職員の意識変化が見られた。

●介護老人保健施設 富士中央ケアセンター 介護職 滝田修世

整容ケア等
医療と看護・介護
コミュニケーション

朝のうがいは何故するの？
～バイバイ、ばい菌～

口腔内の清潔保持・覚醒の促しで、誤嚥性肺炎の予防、また利用者様の在宅からの生活習慣の継続をするため、業務改善を行い、起床直後のうがい介助を取り入れたため報告する。

●介護老人保健施設 新富士ケアセンター 介護福祉士 深沢由紀子

タイムスタディから見た入浴の質
～良質な入浴ケアの統一を目指して～

当施設では独自の理念のもと、日々の介護に就いている。入浴係では、施設理念に沿ったケアが提供できているか、質を向上させる目的で独自の調査を継続してきた旨を報告する。

●介護老人保健施設 なぎさ園 介護福祉士 山田真人

より良い看取りを目指して

老健の役割の1つとして看取りがある。我々の施設でも10数年前より看取りを行い、地域医療に貢献している。その件数はH26年22件、H27年27件、H28年16件と平均21件／年である。より良い看取りを目指し、現状を報告する。

●介護老人保健施設 萩の里 医師 大平政人

褥瘡ケアを見直してわかったこと
～できてからでは遅い、ステージIで発見できた！

H24年度から褥瘡ゼロに向け取り組んできた。H28年度は、皮膚排泄ケア認定看護師との褥瘡回診を実施。正しいケアと予防方法を学び、改善とステージIでの発見が可能になった。

●介護老人保健施設 まんさくの里 看護師 越前佳子

「しおさいで最期をむかえたい」
～難病により余命宣告を受けたご利用者と過ごした3ヶ月

筋萎縮性側索硬化症により余命宣告を受け、自暴自棄になった利用者様に対し、ご希望に沿ったケアを行うことでご本人が望む「穏やかな最期」を迎えていただけた症例を報告する。

●介護老人保健施設 しおさい 介護支援専門員 高橋京介

アンケートの聞き取りからできた本箱
～あなたの事を教えてください、認知症利用者との関わり～

利用者様の本箱を作る目的で、アンケートを作成し、関わりを持った。結果、あなたの事を知りたいとの思いが伝わり、相互になじみの関係ができ、本箱が完成した。

●介護老人保健施設 あじさい 介護福祉士 前田明美

認知症

顔面体操で利用者の反応は改善するか？
～表情筋へのアプローチと回想療法～

日常的に口数や表情の乏しい利用者に対し、表情筋のストレッチと口を動かす体操を行うことで、回想療法に対する反応に変化が見られたため、ここに報告する。

●介護老人保健施設 静岡徳洲苑 介護福祉士 菊池久乃

暴言を伴う帰宅行動を解決に導いた統一チームケア
～これが私達の諦めない介護～

BPSDが顕著に現れている利用者様に対し、独自に作成した4枚の情報シートを使って、効果的な対応方法を検討した。統一されたチームケアが実現し、症状の緩和につながった。

●介護老人保健施設 フォレストア藤枝 介護福祉士 小倉陽子

認知症カフェが家族の意識を変化させる

悩みを打ち明けることのできない家族の救いの手はどこにあるのか？ 私たちが認知症に悩む多くの家族と接し、日々感じていたこと。認知症カフェが家族にとって心を許すことのできる場であれば家族の笑顔も増えていく。

●介護老人保健施設 萩の里 介護福祉士 嶋村立城

「こんな人対応できない」から「やればできるね」へ！
～BPSDに対して自分達の方で受け入れ環境を作る～

「冷蔵庫内に放尿」「リビングで全裸」など、認知症状が強いMさんに何ができるのか？ 利用者様・施設への不満から、介護職の役割の認識、行動の受容、笑顔になった経過を報告する。

●介護老人保健施設 ユニケア岡部 介護福祉士 山田尚幸

FIMから見る在宅復帰

本研究では、在宅復帰に向けたりハビリ専門職としてのかわりを確立させる。在宅復帰された症例のFIMの点数変化や症例との関わりから、在宅復帰支援に必要とされる専門職としての役割をまとめる。

●介護老人保健施設 みずほケアセンター 作業療法士 影山卓也

「45段の階段をのぼるぞ！」
～自慢の我が家からみる富士の絶景～

愛する妻を巻き込んで転倒し突然の入所となったことから、意欲・ADL共に低下傾向だった利用者様が、45段の階段を昇るようになって再び自慢の我が家に帰れるまでの取り組み。

●介護老人保健施設 梅名の里 介護福祉士 中澤英慈



部会報告①

平成29年度看護・介護部会

第1回『健康生活に役立つ良質睡眠のとり方』 第2回『看護・介護のためのストレスケア』

第1回

平成29年9月28日、静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」にて平成29年度第1回看護・介護部会を開催いたしました。参加者総数は43名でした。

東洋羽毛工業株式会社 営業開発部長 上級睡眠健康指導士 田森雄治先生を講師に迎え「健康生活に役立つ良質睡眠のとり方」眠る門には「福きたる」を、ご講義いただきました。人間は睡眠により、身体能力、認知能力、精神能力を育成しています。しかし、日本人は世界で一番睡眠をとっておらず、特に40代の女性が多めに睡眠できていないとのことでした。仕事と家事や子育てなどに忙しい世代です。多くの参加者も何かしらの睡眠の悩みを持っているようでした。講義では睡眠の仕組みや、睡眠の質を高める為の習慣を学びました。体内時計のリズムを整えることが大切なのだ教わったものの、



私たち看護職員や介護職員は勤務時間が不規則なため、そのリズムが乱れがちです。睡眠不足による注意力の低下や勤務中に眠くなってしまうや、15時間起き続けた状態は酒気帯び運転と同等の注意力になってしまふことを知り、驚きました。

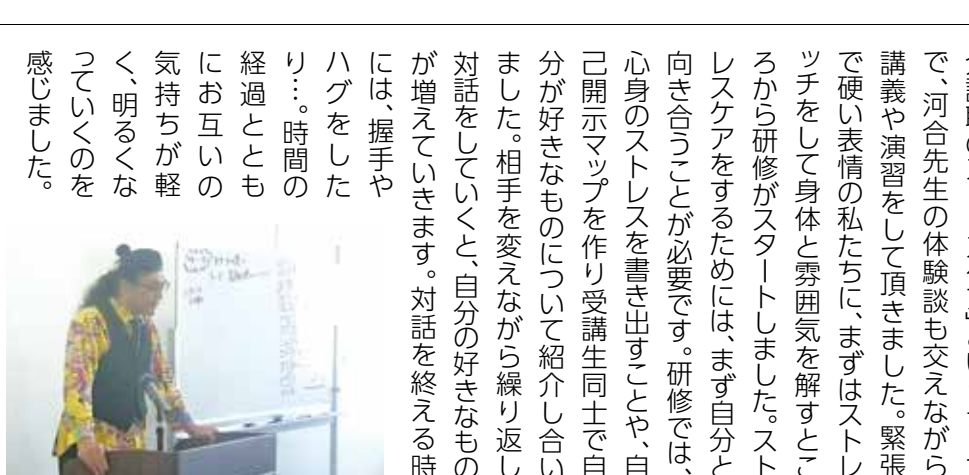
また、認知症リスクと睡眠の関係についても教えていただきました。高齢者にとって30分以上の昼寝は認知症のリスクを高めてしまうそうです。日中は横になる時間を短くし、脳と身体を動かすことで夜間の良眠につながった事例を聴くことができました。

先生のユーモアたっぷりの講義であつという間に研修時間が過ぎ、参加者からの質問が後を絶ちませんでした。今回学んだことを、自身の健康管理や利用者様へのケアに活かしていきたいと思います。

第2回

平成30年2月8日、静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」にて平成29年度第2回看護・介護部会を開催いたしました。参加者総数は56名でした。

お笑い福祉士めんぼーくんこと河合孝彦先生を講師に迎え、「看護・介護職のストレスケア」というテーマで、河合先生の体験談も交えながら講義や演習をして頂きました。緊張で硬い表情の私たちに、まずはストレッチをして身体と雰囲気解すとこから研修がスタートしました。ストレスケアをするためには、まず自分と向き合うことが必要です。研修では、心身のストレスを書き出すことや、自己開示マップを作り受講生同士で自分が好きなものについて紹介し合いました。相手を変えながら繰り返し対話をしていくと、自分の好きなものが増えていきます。対話を終える時には、握手やハグをしたり…。時間の経過とともにお互いの気持ちの軽くなる感じが、つくづくのを感じました。



看護・介護部会DATA

——【日時/場所】——

第1回 平成29年9月28日(休)

静岡県総合社会福祉会館シズウエル

第2回 平成30年2月8日(休)

静岡県総合社会福祉会館シズウエル

——【担当】——

梅名の里



すので、興味のある方はぜひお問い合わせをしてみてください。

発表していただきました施設の皆様に心より感謝申し上げます。

後半は、グループワークを実施しました。8グループに分かれ6つのテーマからひとつ選んでいただき話し合いを行いました。

《グループワークテーマ》

- ベッド稼働率安定にむけての取組
- 在宅強化型老健へ移行しない道
- 他科受診についての各施設での対応
- 在宅復帰を目指すための取組について
- 老健の新しいサービスを考えよう
- 我が施設の自慢・特徴

最後に、話し合った内容をグループ

ごとに発表していただきましたが、ベッド稼働率、在宅復帰、他科受診についてのテーマが多く選ばれていました。ベッド稼働率を上げるために判定会の回数を増やす事や在宅復帰支援を目指すために地域の施設と連携していく事など、それぞれのテーマに見合った積極的な意見交換が行われました。また、参加者の皆様からは、「どの施設も同じ課題があることがわかった」「情報共有できて良かった」などの声が聞かれ、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。ご参加いただきました、ありがとうございます。

アンケート結果については、次回以降の相談員部会の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございます。

成の推移として平成27年から平成37年までの間に高齢者夫婦のみの世帯は約1万世帯増加し、一人暮らし高齢者世帯は約2万8千世帯増加するという予測がありました。現在でも日々の相談業務の中



第2回

平成30年2月22日、静岡県総合研修所もくせい会館にて第2回 施設ケアマネ・支援相談員合同部会を開催しました。総勢53名の施設ケアマネ・支援相談員にご参加いただきました。今回、エスコートタウン静岡の佐野彩様より、合同部会についての所感をいただきましたのでご紹介させていただきます。

静岡県総合研修所もくせい会館にて行われた施設ケアマネ・支援相談員合同部会に出席させていただきました。

前半では「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて」というテーマで、静岡県健康福祉部長寿政策課の地域包括ケア推進班長 加藤克寿様に静岡県における高齢化の現状と今後の予測や地域包括ケアシステムの構築に向けた介護保険制度の改正についての講演を拝聴しました。

その中で、世帯構成の推移として平成27年から平成37年までの間に高齢者夫婦のみの世帯は約1万世帯増加し、一人暮らし高齢者世帯は約2万8千世帯増加するという予測がありました。現在でも日々の相談業務の中

で、高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯であるためにADLが向上しても自宅退所が困難なケースが多くあります。今後ますますそういった世帯が増えるという事で、老健からの在宅復帰には公的サービスだけでなく、インフォーマルサービスも活用していく事がより求められるようになるのだと感じました。

後半のグループワークでは5つのテーマの中から選択したテーマに沿って意見交換を行いました。テーマの1つ「相談員業務・ケアマネ業務で困っていること」では多職種連携・多職種協働の難しさ、在宅復帰にどう取り組んでいくか、入所者のご家族との問題等があげられました。各グループの発表でも「番多く選択されたのは「相談員業務・ケアマネ業務で困っていること」でしたので、施設を超えて悩みや問題点を共有できる機会であったと思います。



第1回

平成29年10月26日、静岡県総合研修所「もくせい会館」にて第1回 支援相談員部会を開催いたしました。総勢51名の支援相談員にご参加いただきました。

今回の相談員部会では、グループワークの他、各施設に入所の事例や施設紹介などの発表をお願いし、3施設にご協力いただきました。

介護老人保健施設 萩の里からは、「在宅復帰・社会参加を果たすことができた利用者様への援助」というテーマについて発表していただきました。利用者様の在宅復帰に向けて、多職種が連携し、家屋環境や介護者の状況などの様々な問題に対応した事例をお伝えいただき、在宅復帰支援を目指す施設にとって大変参考になる内容でした。また、在宅復帰後も通所リハビリテーションやショートステイを継続してご利用していただくなど、アフターフォローの重要性を示して

いただきました。

介護老人保健施設 こみに様からは、糖尿病関節リウマチを患う女性の事例より、「ソーシャルワーカーとしての関わり方」というテーマで発表していただきました。多部署、多職種の連携の大切さや、利用者様にとってより良い支援を追求することなど、一人ひとりの利用者様の為に、どこまで出来るのかということを施設全体で考えておられる事が伝わり、参加者の皆様にとって共感できる内容だったのではないのでしょうか。

介護老人保健施設 ユニケア岡部様からは、「地域で支え、地域で看取る」というテーマで施設の考えや取り組みでいるケアについて発表していただきました。施設生活は家庭の延長線であるという考えや利用者様の「わがまま・こだわり」が出せるようにという想いから、お酒やたばこなどの持ち込みを可能にしており、参加者の皆様から関心を抱く様子がうかがえました。施設見学の受付をしてい



部会報告②

平成29年度 支援相談員部会

第1回『事例検討会』

第2回『地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて』



支援相談員部会DATA

—[日時/場所]—

第1回 平成29年10月26日(木)
静岡県総合研修所もくせい会館
第2回 平成30年2月22日(木)
静岡県総合研修所もくせい会館

—[担当]—

萩の里

けに対して、「在宅」と「施設」を切りはなして考えていなかったかと考えさせられました。確かにケアマネジメンは介護支援専門員が行うものではなくチームで行うものであり、ケアマネジメントを必要とされる利用者にとりまくチームは「在宅」でも「施設」でも同じはずでありケアプランの考え方も同じでなければならぬと思います。利用者を理解しその内容を

文章化したものを利用者の望む暮らしとして明確化ができていますか。そこからチームがどうアプローチしていくのかの援助方針が導き出されるという流れは同じであると思いました。皆さんもケアプランが金太郎飴プランになっていませんか？ 神棚ケアプランになっていませんか？ 日々の実践につなげられるヒントをたくさん頂けた有意義な研修でした。



部会報告③

平成29年度施設ケアマネ部会

第1回『施設ケアマネジメントに伴うケアプランの位置づけを考える』
第2回『地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて』

第1回

平成29年10月30日に第1回施設ケアマネ部会が静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」にて開催されました。講師に身延山大学仏教学部福祉学科准教授の檜木博之先生をお招きして『施設ケアマネジメントに伴うケアプランの位置づけを考える』をテーマについてご講義いただきました。皆様に興味をもたれていたテーマであり介護支援専門員の更新研修で毎年講義をしてくださる先生だった事もあり46施設65名の参加がありました。

ケアプランを作成する上で介護支援専門員としてどの様な視点でプランを作成したらよいか、ケアプラン作成時の考え方を中心に理解を深められる事を主旨に檜木先生に事前をお願いをしておりました。

当日、研修の目的として

- ①ケアマネジメントとは何かを理解する
- ②在宅と施設のケアプランの連動の重要性を理解する

③ICFとケアマネジメントの関係を理解するという順序でわかりやすくご講義をいただきました。ケアマネジメントとは利用者の社会生活のニーズを充足させる為に適切に結びつける総体であり、その利用者とは社会資源を結びつけるのは他ならぬ介護支援専門員である事を再認識致しました。そもそもケアマネジメントが必要な人とは自分自身で適切なサビスを結びつけることができず在宅生活を継続する事が困難である人ということでした。私たち施設介護支援専門員は、とかくこのような話は在宅だけにあてはまる話ではないかという認識が強くなりました。ただ、利用する側から考えれば「在宅」と「施設」のケアマネジメントが変わってくるということがおかしくないのですか？という指摘がありました。在宅のケアプランをみていますか？在宅で存在していたインフォーマルサポートが施設ではなぜなくなってしまうのですか？檜木先生からの問いが

第2回

第2回 平成29年度 施設ケアマネ部会は、支援相談員部会と合同で、平成30年2月22日に静岡県総合研修所もくせい会館にて『施設ケアマネ・支援相談員合同部会』として、静

岡県健康福祉部長寿政策課 地域包括ケア推進班長 加藤克寿様を講師にお招きして「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて」というテーマで講義頂きました。

総勢53名の施設ケアマネ支援相談員にご参加いただきました。



施設ケアマネ部会DATA

——【日時/場所】——

第1回 平成29年10月30日(月)

静岡県総合社会福祉会館シズウエル

第2回 平成30年2月22日(木)

静岡県総合研修所もくせい会館

——【担 当】——

ヒューマンライフ富士

REPORT

部会報告④

平成29年度通所リハビリ部会

第1回『認知症の人との信頼関係が深まるコミュニケーション法』
第2回『これからの通所リハビリテーションに求められるリスクマネジメント』

通所リハビリ部会DATA

—[日時/場所]—
第1回 平成29年10月17日(火)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル
第2回 平成30年2月6日(火)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル
—[担当]—
椎路の里

第1回

平成29年度の第1回通所リハビリ部会が、平成29年10月17日に静岡県総合社会福祉会館「シズウエル」にて42施設61名の参加を頂き、開催致しました。

第1回の通所リハビリ部会では、ケアセンターゆうゆうの作業療法士である安藤祐介氏を講師としてお招きし、「認知症の人との信頼関係が深まるコミュニケーション法」をテーマに講演して頂きました。安藤氏は、実技・演習を取り入れながら現場で役立つ知識・技術を「臨床に役立つ実践セミナー」として各地で開催され、各方面でご活躍されている方です。「認知症を患っており頻繁に帰宅願望を訴える方」や「拒否が多い方」、「意思疎通が困難な方」等に、心地良く生活を送って頂くためにはどのように関わっていけば良いのかを学ぶ為に、職員役と利用者さん役の2人1組に役割を分け、コミュニケーションを中心

に実技を行いました。対話時に「話を合わせる事」、「テンポを合わせる事」、「姿勢を合わせる事」、「表情を合わせる事」、「身振りを合わせる事」等を場面ごとの状況を丁寧にもた、面白おかしく説明しながら進められ、会場内では和やかな雰囲気の中、笑いあり感動ありの研修でした。声量やリズム、



また肩を軽くたたいたり、背中を優しくさすったり等のタッチの違いで、利用者の方はどのように職員への対応を感じているかを、様々な方法で体験する事ができました。

今回の研修では、次の12項目の内容を中心コミュニケーション法を学びました。

- ① 特にかかわらなくても**モ**を丁寧
に扱うだけで、いつのまにか信頼される！
- ② すこぶる多忙な時も**声**と**手**を連動
させるだけで、極めて優しくかわ
れる！
- ③ 声かけもジェスチャーも通じない
意思疎通の困難な方は、**姿勢**を整
えると理解度急上昇！
- ④ どれだけ促しても頑なに便器に座
ろうとされない方は、背中を**ナデ**
ナデすると自ら腰掛けてくれる！
- ⑤ 相手を好きでも嫌いでもいい。そ
れより何より怖いのは……。

あなたから**関心**が無くなる事。

⑥ 圧倒的に愛されるスタッフは、あら
ゆる介助のたびに**熱**(温かさ、ぬく
もり)を思い出に残している。

⑦ 最初の刺激を**最小限**にしながら
かわると、怒りっぽい方からも好
印象を抱かれる。

⑧ 介助後にキョロキョロ不安気な方
は去り際に肩を包み込んで**ポン**
ポンするとホッとしてもらえる。

⑨ ほんの1秒！言葉とタッチの**リズム**
△を変えると混乱しがちな方の反
応が格段に良くなる。

⑩ カウンセラー顔負け！数分おきに
帰宅願望を訴える方の傾聴は**オウ**
△返し(伝え返し)を心がけるべし！

⑪ 生真面目なあなたは相手に**グチ**
を言えると、心の距離が縮まりさ
らに親しくなれる！

⑫ 車椅子使用の方が方向転換する時
は、向かう方向の肩を**チ****チ****チ**
チと軽くたたくと、車椅子介助
が劇的に心地よくなり、移動する
たび信頼が深まる。

第2回

第2回通所リハビリ部会が、平成30年2月6日にシズウエルにて、34施設49名の参加を頂き開催致しました。今回の部会では、常葉大学 健康

科学部 静岡理学療法学科の内田全城先生に講師として「これからの通所リハビリテーションに求められるリスクマネジメント」をテーマに、3部構成で講演して頂きました。短い時間でしたがその都度テーマに添ってグループワークを行い、各施設間で活発な意見交換を行いました。

【第一部】平成30年度介護報酬改定の動向から見る通所リハの役割



【第一部】 退院後、早期のリハビリ介入を促進するために必要なこと

【第三部】 職種間・介護事業所間の連携強化を促進(多職種連携について)

まもなく実施される介護報酬改定に伴い、通所リハビリテーションサービスの生活を支援するという目標・今後の方向性等を今回の研修で学ばせて頂きました。リハビリに特化した内容も多く、少し難しい内容もあったかと思いますが、新たな制度に向かつて情報を共有し多職種協働により良いサービスに繋がっていったらと思います。今回の研修では各施設間とも情報交換ができ、有意義な研鑽の場になった事を嬉しく思っています。



実際の現場に戻って即実践してみたいと感じる、様々な場面でのコミュニケーション方法を学習する事ができました。改めて利用者様との信頼関係をより深く築く事の大切さ、難しさを認識することが出来ました。

研修後半の質疑応答では、出席者からレクリエーションやフロア内での環境設定や認知症の方との関わり方、又聴覚障害の方の入浴拒否の方について多くの質問が出され、利用者様により良い生活を送って頂く為に必要な工夫や少しでも改善して行きたいという出席者の熱意が会場から伝わってきました。

今回の研修では、職員の利用者に対する気持ちの持ち方一つで相手方がどのように感じているか、心穏やかに過ごして頂けるかを分かりやす





頭では理解していた「やさしさ」に触れることで伝えていたでしょうか？講習中、筆者は、走馬灯のように今までの振る舞いが蘇り、反省しきりでした。言葉遣いや、身だしなみなどの接遇に関する研修会や教本は数えきれないほどありますが、今回の講義内容は、体験することで心に響き、響いた分だけ人間力を高めることができるものであり、今まで学んできた接遇にない対応力に特化したものでした。

また、安藤作業療法士は、「共感と肯定の傾聴が大事である」とも伝えていますが、利用者様に声をかけていただけたらということとは、あなたはその方には選ばれており、信頼されているからこその話も印象的で、例えば、



ある利用者様が「もう死にたいものだね」と冗談交じりに話された場合、皆さんはどう答えますか？「そんなこと言わないで、長生きしてくださいね」とお返事を返しますか？これは、間違ひとは言いませんが、否定の返事となってしまう、利用者様があなたへ本当に伝えたいことを話す機会を失わせてしまうかもしれません。参考になる返事としては、「どうかされましたか？何かありましたか？」との返事を返すことで共感的な姿勢になり、相手が聞いてもらいたい内容を話せる機会を作れるのだということも心に残りました。

今回は、認知症の方を対象にした関わり方の講義でしたが、すべての利



用者様への関わりを見直すことができる内容でした。

あなたは、何気ない利用者様の「声」の本質を見抜けていますか？相手の立場になって考えるとは本当はどういうことなのでしょう？今回の講義を通して、多くの参加者の方々が、明日から関わることへの姿勢が変わることを確信しています。

今回の研修で学んだ内容を、各施設で実践し、勉強会などに活かしていただければと思います。

また、皆様からのご意見、ご要望などがあれば参考にさせていただきますので、ぜひお聞かせください。



平成30年2月14日に開催した第2回部会では、29施設36名の方に参加していただきました。

第1部として講師に静岡リハビリテーション病院の言語聴覚士 中島崇先生をお招きし、「よくわかる高次脳機能障害の研修会を実施しました。第2部では、6〜7名の6グループに別れ、グループ毎に日頃の悩みや業務の工夫などの意見交換をしました。

第2回

平成29年度の第1回リハビリ部会が、静岡県総合社会福祉会館シズウエルにて、平成29年9月13日に34施設50名(理学療法士26名・作業療法士21名・介護職員3名)の参加をいただき、開催されました。

ケアセンターゆうゆう 安藤作業療法士を講師に、「認知症がある利用者」に心地よい介護技術」という内容で研修しました。

私たちの仕事上、関わりの中で「相手の立場になって対応しよう」となどと、教育場面などでも話が出ると思います。今回の講義では、そんな私たちの関わり方が本質的な意味で、相手の立場になって行動していたのだらうか？と立ち止まって考えることの機会を得ることができました。

「関わりの12項目のメソッド」を伝えさせていただき、人と関わる前に「物」を丁寧に扱うことの重要性から、ご利用者に触れることでこちらの存在

を伝え、安心感を共に作り上げていく共感性、そして本質的な意味での利用者様に触れることで「熱」となるものを感じ、そして相手にも伝える感受性の大切さを時には笑いが起きるほどの楽しい時間の中で学んでいただけたかと思えます。

文章では伝えられないほどの体験を通して、これまでの自分自身の関わり方に自信をお持ちであった方も、頭では理解できていたつもりになっていただけかもしれないと気づいた方が多かったのではないのでしょうか？「触れることで感情を伝えること」ができることを学びましたが、逆に言えば、利用者様は私たちに触れられることで、こちらの感情を読み取ることができるといことです。手を引いて歩くとき、ベッド乗乗の介助をするとき、トイレ介助のときなど、その都度触れる度に利用者様はあなたの心を感じ取っているということ。今まで触れることで伝わるものがあるということ、どれだけ意識して関わっていたのでしょうか？



部会報告⑤

平成29年度リハビリ部会

第1回『認知症がある利用者に心地よい介護技術』
第2回『よくわかる高次脳機能障害』



リハビリ部会DATA

——【日時/場所】——

第1回 平成29年9月13日(水)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル

第2回 平成30年2月14日(水)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル

——【担 当】——

ケアセンターゆうゆう

今後のHACCPの取り組み方

総括表

【例：麻婆豆腐(加熱調理品)】 ひも付け

No.	工程	危害要因	防止措置	記録文書
9	豆腐(冷凍)			
10	合挽き肉(冷蔵)	病原微生物の増殖	温度管理不良	冷凍・冷蔵庫の温度管理
11	玉ねぎ(常温)			冷凍・冷蔵庫の温度記録簿
12	白ねぎ(冷凍)			
13	グリーンピース(冷凍)	従事者由来	手洗い、健康チェックの徹底	健康チェック表
14	しょうが(常温)	食品由来	保管場所の固定、専用容器での保管、蓋閉めの徹底	
15	調味料(常温)	調理器具由来	洗浄・消毒の徹底、保管場所の管理	
16	洗浄(玉ねぎ)	病原微生物の残存	洗浄不良	洗浄の徹底
		従事者由来	手洗い、健康チェックの徹底	健康チェック表
		調理器具由来	洗浄・消毒の徹底、保管場所の管理	
17	カット(玉ねぎ)	病原微生物による汚染	使用水点検簿 水質検査記録 貯水槽の清掃記録	健康チェック表
		従事者由来	手洗い、健康チェックの徹底	
		調理器具由来	洗浄・消毒の徹底、保管場所の管理	
18	加熱(炒め)	病原微生物の生残	加熱温度・加熱時間の不足	加熱時間・温度の確認
19	調味	病原微生物の生残	加熱温度・加熱時間の不足	加熱時間・温度の確認
20	加熱(ポイル)(グリーンピース)	病原微生物の増殖	温度・時間の管理不良	放冷時間の確認
21	冷却(グリーンピース)	病原微生物による汚染	従事者由来	手洗い、健康チェックの徹底
22	盛付	病原微生物による汚染	調理器具由来	洗浄・消毒の徹底、保管場所の管理
		周囲からの汚染	放冷する場所の管理	
		盛付に要する時間の確認	室温の管理	
23	配膳	病原微生物による汚染	従事者由来	手洗い、健康チェックの徹底

- 帰ってからやること
- HACCPチームの作成(手順1)
 - 総括表の振り返り
 - ・調理工程の確認(手順5)
 - ・記録類の確認
- 今後やること(HACCPチームで検討してください)
- 危害分析するリスク要因を増やす
 - ・化学的要因、物理的要因の検討
 - 危害分析する品目を増やす
 - ・加熱、加熱後冷却、非加熱
 - ・煮る／焼く／揚げる
 - ・肉料理／魚料理、等
 - HACCPプランの見直し

【まとめ】
数年後の制度化(義務化)に向けて、今回は実際にHACCPをやってみる、総括表を作成してみることを最終目的として、それぞれ完成することができました。
食中毒予防に
関する気付きや、
これまでの衛生
記録類の意味や
目的を再認識する
よい機会となりました。



【第1章 HACCPについて学ぼう！】
前回の栄養部会の復習も兼ね、HACCPとは？基本的な事項から教えていただきました。
●HACCP(ハザップ)とは？
安全な食品を製造するための衛生管理手法の一つであり「原材料の受け入れ／製造／出荷」までの各工程に注目し、各工程において、危害要因を列挙し、その危害要因を許容範囲まで下げる工程を定め、その工程の管理基準や基準を逸脱した場合の対応を定め、記録し、これらを継続的に実施すること。
平成29年9月15日、シズウエルにて、第1回栄養部会が開催されました。参加施設45施設、参加人数53名参加していただきました。平成28年度に行われた栄養部会の第2弾として、最新の厚生労働省からの通達をもとに、再び静岡市保健所食品衛生課獣医師 浅沼貴文氏に講義をしていただきました。



HACCP制度化について ～制度化の現状と福祉施設が該当する基準B～

「基準B」の中身とは？

基準B HACCPの考え方に基づく衛生管理

- 一般衛生管理を基本とする。

施設・機械器具・設備等の清掃や洗浄消毒、水質検査、そ族・昆虫の駆除、廃棄物の保管や廃棄、緊急対応時の連絡体制の検討、従業員の検便、手洗いや健康チェックの実施、etc...

- 必要に応じて、HACCPの考え方に基づく衛生管理を行う。

大量調理施設衛生管理マニュアル等の順守
+a(今後、業種・業態別に「手引書」が作成され、明らかにする見込み。
現在までのところ明らかにされていない。)

制度化の内容(何が求められるのか)

基準A HACCPの7原則に基づく衛生管理

対象業種：基準B以外の業種

多くの事業者は、こちらに該当??

基準B HACCPの考え方に基づく衛生管理

対象業種：つぎに該当する業種

ア 小規模事業者
イ 小売販売のみを目的とした施設(菓子屋、お肉屋、魚屋、etc...)
ウ 提供する食品の種類が多い業種(レストラン、給食施設、そうざい屋、etc...)
エ 一般衛生管理で対応が可能な業種(物販や保管のみの業種、運搬業、etc...)

静岡市保健所

静岡市保健所

HACCPの7原則12手順について

HACCPの7原則12手順とは…

手順	原則
1	チームを作ろう
2	製品説明書を作ろう
3	用途、対象者の確認をしよう
4	製造工程表を作ろう
5	製造工程図を現場で確認しよう
6	1 危害要因の分析に挑戦
7	2 重要管理点(CCP)をみつめる
8	3 管理基準(CU)の設定
9	4 モニタリング方法の設定
10	5 不具合があった時には「改善措置」
11	6 定期的に見直す「検証」
12	7 記録の文書化と保管



静岡市保健所

【第2章 HACCPをやってみよう！】
HACCPの12手順を詳しく説明していただき少し理解できたところで、大量調理で実際のメニューとして「麻婆豆腐」を例に挙げて、浅沼氏と食品衛生課職員の指導により、調理工程を自分たちの調理室をイメ

衛生記録とひも付け

(☆)と(□)をひも付けしてみる

作業イメージ

受入

病原微生物の存在

原材料の検査成績書の確認

検収の徹底

保管

病原微生物の増殖

病原微生物による汚染

冷凍・冷蔵庫の温度管理

手洗い、健康チェックの徹底

保管場所の固定、専用容器での保管、蓋閉めの徹底

洗浄・消毒の徹底、保管場所の管理

そ族・昆虫の駆除記録簿

検便の記録

健康チェック表

使用水点検簿

貯水槽の清掃記録

水質検査記録

検収簿

納入業者が実施する製品の自主検査記録

冷凍・冷蔵庫の温度記録簿

加熱調理時の中心温度記録簿

調理時間の記録簿

配送の記録簿

静岡市保健所

第2回

平成30年2月27日、シズウエルにて、第2回栄養部会が開催されました。参加施設34施設、参加人数39名参加していただきました。

今回のテーマ

「老健での口腔ケア・口腔リハビリ」
「デンタルQを高め、安全・安定の食生活を」をテーマに講義をしていただきました。

【テーマ1】
歯学博士 近藤匡晴先生

●老人保健施設での口腔リハビリ

摂食嚥下の仕組みを解りやすく咽頭の解剖図を使い、摂食嚥下リハビリ、水飲みテストやフードテストと評価、その結果に対して、適した訓練、口腔体操の方法等を詳しく教えていただきました。

講師略歴
静岡聖光学院高等学校卒業
日本歯科大学新潟歯学部卒業
新潟大学 医科歯科総合研究所
摂食嚥下リハビリテーション学科卒業
現 近藤歯科医院 副院長

【テーマ2】
近藤歯科医院
白鳥歯科衛生士

●老人保健施設の口腔ケア

口腔ケアの目的とその効果や安全に口腔ケアを行う為にはどうしたら良いか？
普段見慣れない高齢者に対して口腔器具の使用や座位姿勢、環境づくり、そして、何よりも治療する側との、信頼関係を築き、目線を合わせ、不快な思いをさせない、恐怖心を与えない事、そして認知のある場合は、時間をかけて、数回トライするなど、実際に治療している貴重な映像を見ながら、説明していただきました。

【まとめ】
今回の研修は口腔ケアの方法と摂食嚥下の基礎を歯科の視点から教えていただきました。食べる事は「生きる事」であり、栄養と深く繋がりがあります。他職種と連携して栄養改善と充実をさせていく上で、今後に生かせる研修となりました。

摂食嚥下リハビリ

・感覚入力を高める訓練(嚥下促進訓練)
ガムラッピング。
冷圧刺激法(アイスマッサージ)。
嚥下反射促進手技。
メンデルソン手技。

メンデルソン手技

部会報告⑥

平成29年度 栄養部会

今から取り組むHACCP
第1回 『大量調理施設におけるHACCP導入の方法と手順』PartⅡ』
第2回 「老健での口腔ケア・口腔リハビリ」
「デンタルQを高め、安全・安定の食生活を」

栄養部会DATA

——[日時/場所]——
第1回 平成29年9月15日(金)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル
第2回 平成30年2月27日(火)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル
——[担当]——
あみ



平成29年度 第1回 防災部会

日時／平成30年1月30日(火)

13時～16時30分

場所／静岡県総合社会福祉会館
シズウエル 601号会議室
(静岡市葵区駿府町1番70号)

BCP(事業継続計画) 策定研修 東部・西部・中部

日時／

西部 平成29年8月30日(水)

10時～17時

東部 平成29年9月5日(火)

10時～17時

中部 平成29年9月8日(金)

10時～17時

東部、中部、西部で34施設、62人の
方に参加していただきました。福祉
事業所向けの災害対策支援をされて
いる株式会社COAct 代表取締役



の渡嘉敷唯之氏を招き、基本的なB
CPを1日の研修で作成するとい
うハードな内容の研修を実施致し
ました。

【主な内容】

- 初動対応、災害対策本部 組織図の
作成、警報発令時の対応
- 安否確認、職員参集基準について
- 業務の優先順位の決定と代替案
- 停電、断水等のライフライン停止時
における看護、介護業務(食事、排
泄、医療行為等)
- 重要業務(保険請求、給与支給等)
はどうするか?

アイスブレイクやグループワーク
を取り入れ、他のグループのワークシ
ートも写真撮影して持ち帰るなど、
情報共有の時間も多く作りました。

BCP策定だけでなく、災害発生時
の施設間の連携を考え、横の繋がり
を作って頂く事も目的の一つでしたの
で、積極的に名刺交換をされている方
が多く見受けられ良かったです。

【事例発表施設】

- 沼津市 椎路の里
- BCP策定の経緯とBCM体制について
- 浜松市 入野ケアセンター
- (防災対策からBCP策定と課題の抽出
- 藤枝市 ユニケア岡部
- (目指す防災：知恵と工夫を多く出し、
考える事を習慣づける)



平成29年度 防災部会

第1回『BCP(事業継続計画)事例発表会』

防災部会DATA

——[日時/場所]——

第1回 平成30年1月30日(火)
静岡県総合社会福祉会館シズウエル

——[担 当]——

こみに



それぞれの取り組みを相互で共有
し、高め合っていく場を来年も作って
いければと思います。

どの事例も施設のリスクをしっか
りと把握され、自分達のできる形で進
めて頂いており、とても充実した研修
となりました。また参加された施設
の中で、事例発表施設を含めて7施
設より、BCPの閲覧、写真撮影を許
可して頂きました。

※BCPを公開していただいた7施設

- 入野ケアセンター
- みずほケアセンター
- 白脇ケアセンター
- 椎路の里
- ユニケア岡部
- ケアセンター池田の街
- こみに

23

医療法人社団 榮紀会

みしゆくケアセンターわか葉

☎055-997-8181 📠055-997-8302

[所在地] 〒410-1107 裾野市御宿1475

●開設／平成15年11月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



24

医療法人社団 聴友会

いかる野

☎0544-54-3200 📠0544-54-3201

[所在地] 〒418-0105 富士宮市原709

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



25

伊東市介護老人保健施設

みはらし

☎0557-37-3804 📠0557-37-6678

[所在地] 〒414-0055 伊東市岡187

●開設／平成18年4月 ●入所定員／125名 ●通所定員／30名



26

医療法人社団 辰五会

ふれあいの下田

☎0558-27-0700 📠0558-27-1117

[所在地] 〒415-0013 下田市柿崎32-10

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



27

医療法人 啓仁会

いとうの杜

☎0557-35-4165 📠0557-35-4101

[所在地] 〒414-0002 伊東市湯川288-9

●開設／平成18年11月 ●入所定員／137名 ●通所定員／60名



28

独立行政法人地域医療機能推進機構

三島総合病院附属介護老人保健施設

☎055-983-6050 📠055-983-6070

[所在地] 〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276

●開設／平成13年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



29

医療法人社団 愛康会

あしたかケアセンター

☎055-967-3711 📠055-967-3727

[所在地] 〒410-0875 沼津市今沢字西畑372-5

●開設／平成20年9月 ●入所定員／75名 ●通所定員／40名



30

医療法人社団 喜生会

新富士ケアセンター

☎0545-36-2212 📠0545-36-2343

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵字大峯389-1

●開設／平成22年8月 ●入所定員／104名



31

社会福祉法人 秀生会

富士中央ケアセンター

☎0545-72-3800 📠0545-72-3803

[所在地] 〒419-0201 富士市厚原372-1

●開設／平成25年3月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



32

共立蒲原総合病院組合

芙蓉の丘

☎0545-56-2311 📠0545-56-2711

[所在地] 〒421-3306 富士市中之郷2500-1

●開設／平成13年6月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



33

医療法人全心会 介護療養型老人保健施設

老健 つきがせ

☎0558-85-1800 📠0558-85-1801

[所在地] 〒410-3215 伊豆市月ヶ瀬380-2

●開設／平成26年2月 ●入所定員／57名



34

医療法人社団 青虎会

介護老人保健施設 菜の花の丘

☎0550-76-5800 📠0550-76-5804

[所在地] 〒410-1313 駿東郡小山町竹之下321

●開設／平成27年9月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



11

医療法人財団 百葉の会

ききょうの郷

☎0545-65-2000 📠0545-65-2001

[所在地] 〒416-0946 富士市五貫島175

●開設／平成9年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名



12

医療法人社団 志仁会

ラ・サンテふよう

☎055-989-7000 📠055-989-7005

[所在地] 〒411-0047 三島市佐野1205-3

●開設／平成9年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／80名



13

医療法人社団 望洋会

のぞみ

☎0557-48-0658 📠0557-48-0655

[所在地] 〒414-0001 伊東市宇佐美中里2405-2

●開設／平成11年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



14

医療法人社団 仁信会

みゆきの苑

☎0544-28-3900 📠0544-25-3939

[所在地] 〒418-0005 富士宮市宮原337-4

●開設／平成11年4月 ●入所定員／109名 ●通所定員／70名



15

医療法人社団 鳳林会

河津おもと苑

☎0558-35-7770 📠0558-35-7771

[所在地] 〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18

●開設／平成11年9月 ●入所定員／50名 ●通所定員／12名



16

医療法人社団 健育会

しおさい

☎0558-52-3000 📠0558-52-5577

[所在地] 〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1

●開設／平成12年3月 ●入所定員／50名 ●通所定員／30名



17

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス

なぎさ園

☎0558-62-6800 📠0558-62-7255

[所在地] 〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674

●開設／平成13年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名



18

医療法人社団 広見会

ひろみ

☎0545-21-6600 📠0545-21-1003

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵39-1

●開設／平成14年4月 ●入所定員／90名 ●通所定員／40名



19

日本赤十字社静岡県支部

グリーنز修善寺

☎0558-74-3300 📠0558-74-3302

[所在地] 〒410-2413 伊豆市小立野100-2

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



20

医療法人社団 勝友会

サン静浦

☎055-934-6000 📠055-934-8288

[所在地] 〒410-0106 沼津市志下344-1

●開設／平成14年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



21

医療法人社団 愛康会

椎路の里

☎055-927-3900 📠055-927-3700

[所在地] 〒410-0302 沼津市東椎路32-1

●開設／平成15年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／100名



22

医療法人社団 敬寿会

夢の樹の郷

☎055-971-1000 📠055-971-1003

[所在地] 〒411-0902 駿東郡清水町玉川1183-1

●開設／平成15年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／50名



6

医療法人社団 敬寿会

安寧の郷

☎0558-76-8100 📠0558-76-8101

[所在地] 〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44

●開設／平成6年5月 ●入所定員／150名



7

社会福祉法人 静和会

梅名の里

☎055-977-8686 📠055-977-8090

[所在地] 〒411-0816 三島市梅名578

●開設／平成6年8月 ●入所定員／100名 ●通所定員／66名



8

医療法人社団 聡誠会

長泉ケアセンター博寿園

☎055-989-1121 📠055-988-6565

[所在地] 〒410-0945 駿東郡長泉町本宿418-1

●開設／平成7年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



9

医療法人社団 真養会

おおひら

☎055-934-1165 📠055-932-7934

[所在地] 〒410-0821 沼津市大平1117-1

●開設／平成7年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



10

医療法人社団 青虎会

あすなろ

☎0550-88-0007 📠0550-88-1101

[所在地] 〒412-0045 御殿場市川島田1076-2

●開設／平成7年5月 ●入所定員／199名 ●通所定員／120名



1

医療法人社団 聴友会

リバブルケア

☎0544-54-1800 📠0544-54-0522

[所在地] 〒418-0105 富士宮市原682

●開設／平成2年4月 ●入所定員／72名 ●通所定員／40名



2

医療法人社団 愛康会

タカネ園

☎055-967-8800 📠055-967-3600

[所在地] 〒410-0305 沼津市鳥谷611-1

●開設／平成3年8月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



3

医療法人社団 康生会

Kanon

☎0550-83-3567 📠0550-82-3887

[所在地] 〒412-0043 御殿場市新橋1175-1

●開設／平成4年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



4

医療法人社団 喜生会

ヒューマンライフ 富士

☎0545-36-0511 📠0545-36-2677

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵3901-1

●開設／平成5年7月 ●入所定員／195名 ●通所定員／70名



5

一般財団法人富士心身リハビリテーション研究所

富士ケアセンター

☎0544-22-3111 📠0544-22-3907

[所在地] 〒418-0035 富士宮市星山1129

●開設／平成6年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



会員施設一覧 東部地区

24 | 老健しずおか

老健しずおか | 23

会員施設一覧 中部地区

22

医療法人社団 瀬和会
フォレスト 藤枝

☎054-647-3833 📠054-647-3831

[所在地] 〒426-0033 藤枝市小石川町2-8-13
●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/53名

23

医療法人社団 聖雄会
かりん

☎054-268-6666 📠054-268-6660

[所在地] 〒421-0105 静岡市駿河区宇津ノ谷1-1
●開設/平成17年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

24

医療法人社団 宝徳会
ケアセンター 池田の街

☎054-267-2211 📠054-267-2700

[所在地] 〒422-8005 静岡市駿河区池田185-1
●開設/平成17年4月 ●入所定員/110名 ●通所定員/60名

25

医療法人財団 百葉の会
鶴舞乃城

☎054-361-1234 📠054-361-0800

[所在地] 〒424-0114 静岡市清水区庵原町3158
●開設/平成19年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名

26

医療法人 志太会
ユニケア 岡部

☎054-667-5555 📠054-667-3623

[所在地] 〒421-1131 藤枝市岡部町内容1473-3
●開設/平成15年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

27

医療法人社団 アール・アンド・オー
エスコートタウン 静清

☎054-267-1010 📠054-267-1060

[所在地] 〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1
●開設/平成19年9月 ●入所定員/120名 ●通所定員/70名

28

医療法人財団 百葉の会
星のしずく

☎054-200-5555 📠054-200-5558

[所在地] 〒420-0805 静岡市葵区城北87
●開設/平成24年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

29

医療法人 杏林会
リハビリパーク 駿府

☎054-266-3611 📠054-266-3613

[所在地] 〒420-0873 静岡市葵区藤上8-6
●開設/平成24年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

30

医療法人社団 健寿会
もくれん

☎054-366-5101 📠054-366-5102

[所在地] 〒424-0104 静岡市清水区草ヶ谷字クツツウヶ谷624-22
●開設/平成22年4月 ●入所定員/158名 ●通所定員/0名

31

医療法人 沖縄徳洲会
あじさい

☎0548-23-0231 📠0548-23-0235

[所在地] 〒421-0421 牧之原市細江3208-1
●開設/平成26年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

32

医療法人 沖縄徳洲会
静岡徳洲苑

☎054-277-3300 📠054-277-3305

[所在地] 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷811-15
●開設/平成24年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/18名

33

医療法人 杏林会
リハビリパーク 清水

☎054-367-0101 📠054-367-0115

[所在地] 〒424-0005 静岡市清水区石川1135
●開設/平成28年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

10

医療法人社団 平成会
カリタス・メンテ

☎054-643-1266 📠054-643-1289

[所在地] 〒426-8662 藤枝市水上123-1
●開設/平成9年5月 ●入所定員/50名 ●通所定員/20名

11

医療法人社団 聖観会
グリーンヒルズ 藤枝

☎054-639-1234 📠054-639-1255

[所在地] 〒426-0133 藤枝市宮原420-1
●開設/平成10年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/75名

12

医療法人社団 共生会
エコトープ

☎0547-45-0111 📠0547-45-0112

[所在地] 〒428-0007 島田市島534-1
●開設/平成10年10月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名

13

医療法人社団 健社会
アポロン

☎0547-34-2000 📠0547-34-2358

[所在地] 〒427-0047 島田市中溝町1714-1
●開設/平成11年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/45名

14

医療法人社団 博恵会
アリス草薙

☎054-347-6511 📠054-347-6565

[所在地] 〒424-0886 静岡市清水区草薙424-7
●開設/平成11年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/105名

15

医療法人社団 秀慈会
萩の里

☎054-236-1155 📠054-236-1177

[所在地] 〒422-8018 静岡市駿河区西大谷12-5
●開設/平成12年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/85名

16

医療法人社団 あけぼの
はるかぜ

☎0548-52-7771 📠0548-52-7781

[所在地] 〒421-0514 牧之原市菅ヶ谷1240-1
●開設/平成12年3月 ●入所定員/80名 ●通所定員/40名

17

静岡県厚生農業協同組合連合会
きよみの里

☎054-369-7700 📠054-360-4100

[所在地] 〒424-0203 静岡市清水区興津東町1829
●開設/平成12年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/55名

18

医療法人社団 静寿会
葵の里

☎054-257-2281 📠054-268-5221

[所在地] 〒421-0135 静岡市駿河区小坂376-1
●開設/平成12年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

19

医療法人社団 松笑会
あみ

☎054-206-1777 📠054-206-1717

[所在地] 〒421-2109 静岡市葵区福田ヶ谷73-2
●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

20

医療法人社団 駿甲会
コミュニティケア 吉田

☎0548-34-5577 📠0548-34-5578

[所在地] 〒421-0302 榛原郡吉田町川尻1700-1
●開設/平成15年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

21

医療法人社団 平成会
マインド

☎054-643-3601 📠054-643-3602

[所在地] 〒426-0075 藤枝市瀬戸新屋487-2
●開設/平成15年11月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名

5

医療法人社団 駿甲会
コミュニティケア 高草

☎054-627-5588 📠054-627-9988

[所在地] 〒425-0005 焼津市方ノ上358-1
●開設/平成8年4月 ●入所定員/84名 ●通所定員/115名

6

医療法人社団 宏登会
サンライズ 大浜

☎054-282-2839 📠054-281-8245

[所在地] 〒422-8045 静岡市駿河区西島528
●開設/平成8年5月 ●入所定員/121名 ●通所定員/20名

7

社会福祉法人 楽寿会
楽寿

☎054-296-1112 📠054-296-1313

[所在地] 〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11
●開設/平成8年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

8

医療法人社団 博慈会
こみに

☎054-209-7000 📠054-209-7007

[所在地] 〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16
●開設/平成9年4月 ●入所定員/186名 ●通所定員/75名

9

医療法人社団 正心会
ケアセンター ゆうゆう

☎054-625-0321 📠054-625-0322

[所在地] 〒425-0052 焼津市田尻4
●開設/平成9年4月 ●入所定員/97名 ●通所定員/100名

1

医療法人社団 恒仁会
ケアセンター 瀬名

☎054-264-2221 📠054-264-8100

[所在地] 〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5
●開設/平成元年6月 ●入所定員/200名 ●通所定員/70名

2

医療法人社団 清仁会
あかつきの園

☎054-334-5533 📠054-334-1121

[所在地] 〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1
●開設/平成3年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/10名

3

医療法人社団 清秀会
ケア・センター ひまわり

☎054-336-3033 📠054-336-3035

[所在地] 〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34
●開設/平成5年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

4

医療法人社団 綾和会
焼津ケアセンター

☎054-623-8111 📠054-623-8116

[所在地] 〒425-0062 焼津市中根新田1315
●開設/平成7年3月 ●入所定員/150名 ●通所定員/63名

会員施設一覧 西部地区

29

医療法人社団 藤友五幸会
五洋の里

☎0538-67-1755 📠0538-67-1756

[所在地] 〒438-0234 磐田市掛塚3190-1

●開設／平成18年7月 ●入所定員／90名 ●通所定員／40名

30

医療法人社団 拓己会
長鶴の郷

☎053-423-2700 📠053-423-2711

[所在地] 〒435-0031 浜松市東区長鶴町290

●開設／平成19年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／45名

31

医療法人社団 敬徳会
あらたま

☎053-582-3211 📠053-582-3333

[所在地] 〒434-0004 浜松市浜北区宮口3152

●開設／平成18年9月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名

32

医療法人社団 恵成会
えいせい掛川介護老人保健施設

☎0537-20-1611 📠0537-29-1116

[所在地] 〒436-0342 掛川市上西郷8021

●開設／平成19年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

33

医療法人社団 早友会
クロヤナギ介護老人保健施設

☎053-524-1000 📠053-524-1152

[所在地] 〒431-1404 浜松市北区三ヶ日町宇志34-1

●開設／平成21年8月 ●入所定員／19名 ●通所定員／40名

34

医療法人社団 白梅会
白梅県居ケアホーム

☎053-458-2100 📠053-458-2101

[所在地] 〒432-8036 浜松市中区東伊場2-14-35

●開設／平成24年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

35

医療法人社団 光久会
はるのケアセンター

☎053-989-1500 📠053-989-1502

[所在地] 〒437-0605 浜松市天竜区春野町氣田776-5

●開設／平成24年4月 ●入所定員／60名 ●通所定員／30名

36

医療法人社団 あずま会
八幡の森

☎053-476-1156 📠053-401-0011

[所在地] 〒430-0918 浜松市中区八幡町181

●開設／平成24年11月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

37

医療法人社団 和恵会
みずほケアセンター

☎053-414-2220 📠053-414-2225

[所在地] 〒433-8118 浜松市中区高丘西2-32-36

●開設／平成25年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

38

医療法人社団 友成医院
介護老人保健施設 きらりの森

☎053-589-3331 📠053-589-3332

[所在地] 〒434-0046 浜松市浜北区染地台3-29-20

●開設／平成26年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

39

医療法人社団 心
介護老人保健施設 坂の上ろうけん曳馬野

☎053-416-2015 📠053-416-2025

[所在地] 〒433-8123 浜松市中区幸4丁目36-3

●開設／平成27年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

40

医療法人社団 続和会
介護老人保健施設 桔梗の丘

☎0537-23-7110 📠0537-23-7116

[所在地] 〒436-0030 掛川市杉谷南1丁目1-1

●開設／平成27年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



17

医療法人 浜名会
まんさくの里

☎053-572-3911 📠053-572-3939

[所在地] 〒431-0422 湖西市岡崎1353-1

●開設／平成13年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

18

御前崎市
はまおか

☎0537-86-8822 📠0537-85-7436

[所在地] 〒437-1688 御前崎市池新田2070

●開設／平成13年5月 ●入所定員／50名 ●通所定員／45名

19

医療法人社団 藤花会
花平ケアセンター

☎053-542-4187 📠053-542-4087

[所在地] 〒431-2211 浜松市北区引佐町花平708

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

20

医療法人社団 和恵会
白脇ケアセンター

☎053-444-3131 📠053-444-3132

[所在地] 〒430-0846 浜松市南区白羽町1424

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名

21

医療法人社団 東医会
みかたはら介護老人保健施設

☎053-438-5886 📠053-438-5887

[所在地] 〒433-8105 浜松市北区三方原町675-6

●開設／平成19年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

22

医療法人社団 山川会
ケアセンター芳川

☎053-426-0003 📠053-426-0004

[所在地] 〒430-0838 浜松市南区嵐野町24

●開設／平成15年10月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

23

医療法人社団 緑生会
天王介護老人保健施設

☎053-423-1070 📠053-423-1072

[所在地] 〒435-0051 浜松市東区市野町2495

●開設／平成19年8月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

24

医療法人社団 あおば会
あおばケアガーデン

☎0537-48-0002 📠0537-48-0024

[所在地] 〒437-1302 掛川市大淵4345

●開設／平成16年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

25

医療法人社団 緑風会
風の杜

☎0538-85-1121 📠0538-85-1171

[所在地] 〒437-0214 周智郡森町草ヶ谷104-1

●開設／平成17年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／43名

26

医療法人社団 晴和会
さわだの庄

☎0537-35-8889 📠0537-35-8880

[所在地] 〒439-0037 菊川市西方5511

●開設／平成17年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名

27

医療法人社団 白梅会
白梅豊岡ケアホーム

☎0539-62-1601 📠0539-62-1606

[所在地] 〒438-0126 磐田市下神増183-1

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

28

医療法人社団 紅紫会
ナーシングホームオンフルール

☎0538-45-0080 📠0538-45-0081

[所在地] 〒437-0023 袋井市高尾1439-3

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



A

4

38

6

2

21

37

1

9

34

20

22

29

30

36

39

7

23

152

浜北

東海道新幹線

東海道本線

遠州鉄道

新浜松

浜松

新所原

蟹津

袋井

掛川

天竜二俣

西條町

浜北

新浜松

浜松

17

33

3

8

12

19

31

25

16

13

27

5

14

10

28

11

15

26

40

32

24

18

150

新東名高速道路

東名高速道路

新東名高速道路

静岡県西部



9

医療法人社団 和恵会
入野ケアセンター

☎053-440-1200 📠053-440-1201

[所在地] 〒432-8061 浜松市西区入野町6417

●開設／平成7年10月 ●入所定員／150名 ●通所定員／80名

10

医療法人社団 木野記念会
於保老健センター

☎0538-58-2550 📠0538-58-2552

[所在地] 〒437-1216 磐田市一色26

●開設／平成8年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名

11

医療法人社団 川口会
エバーグリーン掛川

☎0537-21-0550 📠0537-21-0551

[所在地] 〒436-0043 掛川市大池680

●開設／平成8年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

12

社会福祉法人 天竜厚生会
さいわい

☎053-583-1156 📠053-583-1258

[所在地] 〒431-3492 浜松市天竜区渡ヶ島221

●開設／平成9年6月 ●入所定員／127名 ●通所定員／55名

13

医療法人社団 藤友五幸会
おおふじ五幸ホーム

☎0538-38-5511 📠0538-38-5656

[所在地] 〒438-0002 磐田市大久保508-3

●開設／平成10年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

14

医療法人社団 愛慈会
さくらの苑

☎0538-33-3800 📠0538-33-3802

[所在地] 〒438-0074 磐田市二之宮字仙水1162

●開設／平成10年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／39名

15

医療法人社団 学修会
神子の園

☎0537-20-0080 📠0537-20-0081

[所在地] 〒436-0084 掛川市逆川100

●開設／平成11年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

16

医療法人社団 清怜会
袋井ケアセンター

☎0538-49-4911 📠0538-49-4912

[所在地] 〒437-0003 袋井市萱間933-1

●開設／平成11年7月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



1

医療法人社団 一穂会
西山ウエルケア

☎053-485-5500 📠053-485-6130

[所在地] 〒432-8001 浜松市西区西山町411-2

●開設／平成元年3月 ●入所定員／148名 ●通所定員／64名

2

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
三方原ベテルホーム

☎053-436-6600 📠053-439-0055

[所在地] 〒431-1304 浜松市北区細江町中川17421-1

●開設／平成3年4月 ●入所定員／150名 ●通所定員／50名

3

医療法人社団 早友会
みっかび東介護老人保健施設

☎053-524-2000 📠053-524-1152

[所在地] 〒431-1404 浜松市北区三ヶ日町宇志34-1

●開設／平成4年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

4

医療法人社団 長啓会
都ケアセンター

☎053-428-3331 📠053-428-3332

[所在地] 〒431-2102 浜松市北区都田町7555-47

●開設／平成5年3月 ●入所定員／405名 ●通所定員／20名

5

医療法人社団 恵成会
なかよし

☎0538-34-6543 📠0538-37-7498

[所在地] 〒438-0838 磐田市小立野135-1

●開設／平成6年3月 ●入所定員／50名 ●通所定員／40名

6

医療法人社団 明徳会
エーデルワイス

☎053-585-1500 📠053-585-1501

[所在地] 〒434-0041 浜松市浜北区平口2405

●開設／平成6年9月 ●入所定員／150名 ●通所定員／60名

7

医療法人社団 岡崎会
ハイマート有玉

☎053-434-7877 📠053-435-4987

[所在地] 〒431-3122 浜松市東区有玉南町1436

●開設／平成7年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

8

医療法人社団 白梅会
白梅ケアホーム

☎053-485-7711 📠053-485-7712

[所在地] 〒431-1112 浜松市西区大人見町3011-1

●開設／平成7年4月 ●入所定員／150名 ●通所定員／40名



28 | 老健しずおか

老健しずおか | 27

彩ろう! 豊かな高齢社会を ～老健は地域づくりの担い手です～

小江戸・川越
時の鐘



第29回 全国介護老人保健施設大会 埼玉

日程 平成30年10月17日(水)・18日(木)・19日(金)  彩の国さいたま

会場 ソニックシティ・パレスホテル大宮

大会会長 小川 郁男 (公益社団法人全国老人保健施設協会 埼玉県支部長)

【主催】公益社団法人 全国老人保健施設協会 【運営】公益社団法人 全国老人保健施設協会 埼玉県支部 【後援】埼玉県 (一社) 埼玉県医師会
【お問い合わせ】第29回全国介護老人保健施設大会埼玉 大会事務局 (公益社団法人埼玉県介護老人保健施設協会)
〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折1877
tel.049-285-5055 fax.049-285-5510

大会URL <https://confit.atlas.jp/roken2018saitama>

第14回東海・北陸ブロック老健大会 福井

地域から期待される老健へ

～知ってもらおう老健のチカラ～

会期 平成30年5月24日(木)・25日(金)

会場 福井市フェニックス・プラザ
福井市田原1丁目13-6 TEL.0776-20-5060

第14回東海・北陸ブロック老健大会 福井

会場：福井フェニックス・プラザ 主催：北陸ブロック老人保健施設連合会



主催 催／東海・北陸ブロック老人保健施設連合会
運営 営／福井県老人保健施設協議会

後援 援／公益社団法人 全国老人保健施設協会
大会 長／福井県老人保健施設協議会会長 奥村雄外

INDEX

老健しずおか

静岡県老人保健施設協会機関誌 第22号

- 1 ご挨拶／静岡県老人保健施設協会 会長 猿原 孝行
- 2 ご挨拶／静岡県健康福祉部福祉長寿局 福祉指導課長 黒岩 康

3 TOPIC 1 平成29年度 第1回 職員研修会 Report!

5 TOPIC 2 平成29年度 第1回 職員研修発表会 Report!

7 TOPIC 3 第28回全国介護老人保健施設大会 愛媛 in 松山 Report!

部会報告

- 9 看護・介護部会
- 11 支援相談員部会
- 13 施設ケアマネ部会
- 15 通所リハビリ部会
- 17 リハビリ部会
- 19 栄養部会
- 21 防災部会

県内老人保健施設協会会員施設紹介

- 23 ●東部地区 ●中部地区 ●西部地区



浜松城